

有力企業の製品・技術

〈順不同〉

東 芝

東芝のトップランナーモーター「プレミアムゴールドモーター」の特徴は、①200^{ワット}級の4定格全てでIE3効率を達成②従来モーターと同一枠番で取り付け互換性を確保③絶縁信頼性を向上するため、全機種の耐熱クラスF（Bライズ）とし長寿命化を実現④屋外形は保護構造をIP55とし、耐環境性能を向上⑤端子箱の上部取り付け対応により、複数台並列使用時の省スペース化が図れる。など。

米国の国立標準技術研究所の試験所認定プログラム（NVLAP）の認証を取得した全工場の製造工程から信頼性の高いモーターを供給する。

日本銅センター

日本銅センターは銅の優れた特性や機能を広く伝えることを目的に設立された機関。技術開発や研究調査なども行い、銅の需要開発や促進に力を注いでいる。

IE3モーターでは、巻線のほか回転子（ローター）でも銅の活躍が期待される。特に銅製のローターは従来のアルミニウム製に比べ、導電性が高く効率向上と小型軽量化が可能になる。ダイカストによる量産技術は明石合銅（石川県小松市）が確立。今後は稼働時間が長いポンプ用モーターやレアメタルを使う永久磁石モーターの代替需要などの用途拡大が注目される。

三菱電機

三菱電機はIE3のトップランナー基準に対応した「スーパーラインプレミアムシリズ SFP形」を発売。本体に独自の鋼板フレームを採用するなどの高効率技術を生かして完成した。

発生損失は同社のIE1クラスモーターに比べ40～50%低減できる。また1台で日本国内と米国の電源に対応。米国のエネルギー独立安全保障法（EISA）にも対応している。IE1などに取り付け寸法に互換性があり、全長や軸の寸法もほぼ同一なため置き換えがしやすい。すべりや始動電流もIE2クラスモーターと同レベルで高効率化を実現できる。

日立産機システム

日立産機システムは「ザ・モーターNeo100Premium」シリーズを発売。トップランナー基準値（IE3相当）をクリアする、より高効率なモーターに仕上がっている。

これまで培った高効率化技術を生かし、従来の標準効率モーターと比べ取り付け寸法が互換性を持つのももちろん、機械へ

の組み込み用途が多い小型モーター（0.75^{キロワット}～3.7^{キロワット}、4極相当）は外形寸法も同一（0.75^{キロワット}の4極タイプはJISC 4212の高効率モーターと同一寸法）。幅広いラインアップで在庫対応も開始し、「未来の効果を今からお手元にお届けできる」としている。

TECO JAPAN

TECO JAPANは台湾の総合電機メーカーであるTECOの日本人。IE3対応の「TECO プレミアムモーター」は、グループで年間数十万台の量産体制を確保し米国をはじめ世界市場で多くの実績がある。

日本でも3年前からポンプ向けなどで実績を持つが、201

5年度からの規制に向け販売を拡大する。出力0.2^{キロワット}～132^{キロワット}までラインアップし、フランジ型、脚付きフランジ型などにも対応する。また業界に先駆けていち早く、アルミダイカスト製の回転子の採用で注目される、スーパープレミアム効率のIE4モーターも完成。低コストを実現している。

トップランナー基準(IE3)対応 プレミアムモータ

TECOプレミアムモータは北米（米国EISA法とカナダEEAct法の認証取得）を初め、年間数十万台の量産体制を構築しており、日本国内市場でも3年前からIE3モータをいち早く、提供しております。

- ・ 高効率ニーズに応える力
- ・ 研究開発力
- ・ 技術力
- ・ 量産力

省エネに
競争力ある
高効率
シリーズ

※ カスタマイズ対応、承ります。